

二小通信

令和 7年 2月28日
東久留米市立第二小学校
校長 井上 淳

3月号

TEL042-471-0134 Fax042-472-7981

*学校ホームページ <http://www.higashikurume-school01.jp/~dai2-e/>



『教育目標』

- ◇ 考える子
- ◇ 仲よくする子
- ◇ じょうぶな子

お子様が小学生でいる時間を大切に

校長 井上 淳

3月を迎えようとしています。1～5年生はもうすぐ進級します。そして何より6年生は3月25日に卒業式があります。ほとんどの6年生は12歳ですから、人生の半分を小学校に在学したことになります。

保護者の皆様におかれましては、お子様が入学した頃の様子が昨日のことのよう思い出されることでしょうか。そして、六年間での様々な出来事を思い出されることでしょうか。お子様たちは様々な出来事に直面し、それを乗り越えたり、課題として残したりしながら立派に成長してきました。それは、小学校での行事等での6年生の姿を見ても強く感じる場所です。「ああ、子供って、どんどん成長していくんだなあ。」と嬉しく思っています。

6年生は中学校に進学すると、これまで以上に学習や部活で忙しくなります。また思春期の真っただ中で、ご家庭で話をすることが少なくなるお子様もいます。実は、不安になって親を頼ってきたり、家族でどこかへ出かけるのを素直に喜んでくれたりするの、小学生のうちだけかもしれません。私自身、大学生と高校生の息子がいますが、時々、息子たちが小学生だった時代を懐かしく思い出することがあります。「あの頃は、あの頃で大変だったけど、それはそれで、とても楽しかったなあ。」と。

小学生は、体験を通して大きく成長したり、何らかのきっかけで急にできるようになったりします。親の都合で無理に成長させようとしてもうまくいかないことが多いです。どうやら小学生は成長するタイミングがあるようです。そのタイミングに合わせて親が適切な働きかけをすると、子供はぐんと伸びるようです。

お子様が小学生でいられるのは六年間に限定されています。まだ手がかかって大変だと思うことがあるでしょうが、保護者の皆様におかれましては、お子様が小学生でいる時間を大切に、そして子育てを楽しんでもらいたいと願っています。

「令和6年度 東久留米市教育委員会 児童・生徒表彰者」として、代表委員会委員長として、運動会での児童代表の挨拶など年間を通して活躍した 6年2組 北野智燿さんが選出されました。

